



しろね図書館だより

No.135

~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館

新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510

平成23年8月発行

ご利用ありがとうございます。

暑い季節がやってきました。天候が荒れても図書館の中は快適です。涼みながら読書や夏休みの宿題などで図書館がにぎわうこの時期、気持ちのよい図書館利用にご協力ください。

夏休み 図書館 専門報告



図書館員になってみる日

7月23日、図書館員になってみる日が開催されました。午前の部、4名 午後の部、5名が参加。利用者の方からもご協力いただき、図書館員を体験

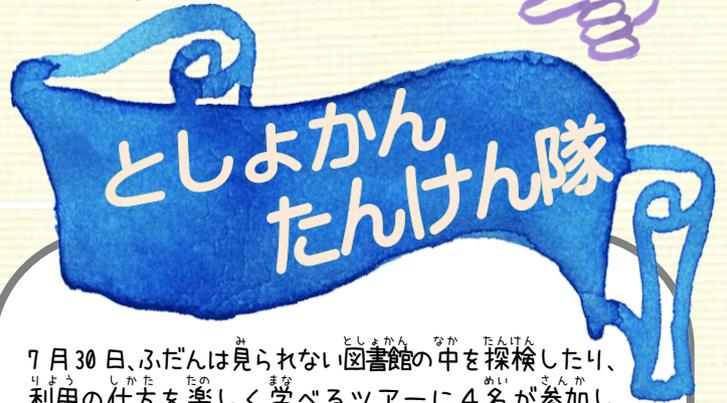
しました。みなさん、お疲れさまでした。

もう1回さんかしたい

きんちょうしたけど楽しかった

むずかしかったけど楽しかった

がんばりました!



7月30日、ふだんは見られない図書館の中を探検したり、利用の仕方を楽しく学ぶツアーに4名が参加してくれました。29日の豪雨の後だったため開催自体危ぶまれましたが、参加してくれたみなさんありがとうございました。これからもっと図書館を利用し

OPACを使って本探しに挑戦



ここがブックポストなんだね



★職場体験にご協力をお願いします。



職場体験

夏休み中の図書館では、中高生の職場体験を受入しています。慣れない作業に戸惑いつつも頑張っています。あたたかく見守ってあげてください。よろしくお願ひします。



読書会は、みんなで同じ本を読んで、思ったことをおしゃべりする楽しい集まりです。

平成23年7月17日(日) 午後2時

【参加者】4名

幽霊を見た10の話



フィリパ・ピアス 作
高杉一郎 訳
(岩波書店)

『トムは真夜中の庭で』で知られるイギリスの児童文学作家、フィリパ・ピアスが描く短編集。古いびんが過去の忌わしい記憶を呼び「影の檻」戦地にいるはずの兄が父親を助ける「水門で」など、不思議な読後感を残す10の短編が収録されている。

★ ★ 参加者の感想から ★ ★

■「影の檻」「あらずじ」 魔女が住んでいたという、ホイッスラーズ・ヒル(口笛を吹く者たちの丘)の「焼きはらわれた家」。その近くで拾った古いガラスびんと呼び寄せられるように、少年ケヴィンは、真夜中の校庭に忍び込む。どこからともなく口笛が聞こえ、ケヴィンは影に捕らわれそうになる。

◆びんに残っていた血は誰のものだろうか? 魔女? はっきりとした答えは書かれていない。答えのないところが奥深いところであり、怖いところである。以前にヨーロッパの魔女を調べたことがある。魔女と呼ばれることは時に死を意味する。また、魔女は、特殊な能力を持っていると自分で思っている。魔女は、複雑な存在だ。

◆現代は、真の闇、真の暗闇がなかなか体験できない。月の明るさを実感することも、あまりない。

■「水門で」「あらずじ」 優しかった兄が戦場に行った。休暇で家に帰った兄は「戦場は地獄だ」とつぶ

やく。激しい嵐の中、死に物狂いで水門を開けようとする父の側に、戦地にいるはずの兄の影が…。翌日、兄が戦死したという知らせが届く。

◆以前にも読み、印象に残っていた話。今回、再び読み直した。この世で一番怖いのは「人」「戦争」。そう思うと、今生きている人間の過ちが一番怖い。亡くなった人が知らせにくるという話は、身近にもよく聞く。

■「ミス・マウンテン」

◆現在にも通じる過食症、いじめ。
◆溫和そのものようなロビンソン夫人だが、子どもたちの記憶が悲しく痛ましい。

■全般に

◆いわゆるホラー、オカルトではないが、怖い。描写が鮮やか。良質な深みのある作品。
◆死者の霊に限定されない、幅広い怪異が書かれている。日常の奥にある、個人の愛憎、執着や集団の悪意などが怪異の源。
◆登場する子ども達は、平穏な日常の生活から一転、不意に暗闇に飲み込まれるような恐怖を体験するが、無事日常の世界に帰還する。表面からは見えないうちの世界を体験したこと、子ども達の物事を見る目、認識が変わっていくと思ふ。
◆「子どもには「安全な恐怖」が必要」とピアスは言っている。*参考『フィリパ・ピアス 現代英米児童文学評伝叢書』(KTC中央出版)。
◆高杉一郎の訳文が端正。硬質で、まとわりつかない感じがよい。高杉一郎の随想『あたたい人』(みすず書局)もおすすめ。ピアスのことも書かれている。
◆ピアスの他の著作『こわがっているのはだれ?』(岩波書店)など、数冊紹介 (村山)

次回の読書会

8月21日(日) 14:00~



これは現代? 近未来?

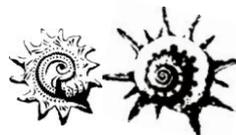
とつじょ大繁殖して野に町にあふれでたネズミの大群がまき起こす大恐慌を描く『パニック』
打算と偽善と虚栄に満ちた社会でほとんど圧殺されかかっている幼い生命の救出を描く芥川賞受賞作『裸の王様』
50年以上も前の作品ですが、古さを感じさせない内容です。ぜひ読んでみませんか?

開高健著 (新潮文庫)



「八月の博物館」

瀬名秀明著 新潮文庫 2006年



「ここはね、ミュージアムを展示するミュージアムなの。」

「八月」「博物館」—なんと魅惑的な響きでしょう。ワクワクしてきませんか？そして、ここに続く言葉は当然「夏休み」「冒険」です。この本は1995年に『パラサイト・イブ』でデビューした瀬名秀明の冒険ファンタジーです。

瀬名秀明。ご存知ですか？2年前まで東北大学工学研究科機械系の特任教授(SF 機械工学企画担当)をしていました(本人は薬学の博士課程を修了)。なぜ薬学を修了した人が機械系の教授？作品が『パラサイト・イブ』『BRAIN VALLEY』のような生物学を軸にしたサイエンス・ホラーから、『デカルトの密室』『あしたのロボット』などのロボット工学をベースにした作品となっていくことに関係しているのでしょうか？この作品はその軸が移行する中での1冊です。



ハードカバー版が2000年に出版されたとき、「瀬名秀明の本にしてはタイトルがやわらかそうだなあ」と思って手にとりました。しかし、そこはさすが瀬名秀明。ただの冒険ファンタジーではありませんでした。

物語は3つの時代、次元が並行して語られていきます。実在の考古学者「オーギュスト・マリエット」、小学生の男の子「トオル」、そして「理科系作家」としてデビューしたにもかかわらず物語を書くことに迷う「私」。この3人の時代が、入れ替わり立ち替わり語られるので少々混乱するところもありますが、読み進んでいくうちに、謎と3人の人生が交錯していきます。

小学生最後の夏休み。少年トオルは、まるで呼ばれるように不思議な建物「THE MUSEUM」を見つけ、そこで謎の少女・美宇に出会います。そして時空を超える旅に出かけますが、二人の冒険は大きな危険をはらんでいました—夏休みにふさわしい1冊です。一緒に冒険してみませんか？



他にも「博物館」が出てくる小説で『永遠の森 博物館惑星』(菅浩江/著, 早川書房, 2000年)があります。こちらは未来の博物館, 宇宙に浮かぶ巨大博物館<アフロディーテ>を舞台に繰り広げられる美をめぐる九つのSFファンタジーです。



子どもたちからの お手紙



おもしろかった本のこと、好きな本のこと、
図書館のポストに寄せられた
子どもたちからのお手紙を紹介します。



「はじめてのえいご」

わたしは えいごとか ちゅうごく
ごとか がいくのことばが
だいすきだったので、
おもしろかったです。



「ちゅーちゅー」

わたしが この本を よんで気づ
いたことは 気もちです。気もち
をひとつにした本だとおもいま
す。これで ねずみや ねこのき
らいな人もすきになるかも！

「ふしぎなナイフ」

さいごに ふくらむところが
だいすきです。
ふくらんで
われるところが
おもしろかったです。





子どもたちといっしょに

ともだちキリン

とりさんはだいすきなキリンさんの^{あたま}頭にとまります。
でもなんだかいつもとキリンさんの^{ようす}様子がちがいます。
もそもそ、ごそごそ、とりさんはいつものようにのんびりできません。
そこでとりさんは「くびがかゆい」というキリンさんのお願いをきいてあげます……。

^{むずか}難しい言葉はひとつも使わずに^{ことば}ことばの^{たの}楽しさを^{おし}教えてくれます。とぎれの^{いき}ない、^{なが}長い^{ぶんしやう}文章で^{にひき}二匹の^{たの}楽しいやり取りが^{えが}描かれます。最後のページのキリンさんの^{ひとこと}一言に、^{ちやうど}著者^{どくたく}独特の^{やさ}優しいユーモアが^きこめられている^き気がします。

文と絵が同じコンビの、「きぜつライオン」「わがままいもうと」もおすすめです。
(田村)



ねじめ正一 詩
村上康成 絵
(教育画劇)



今月の展示架

■ 展示期間 8/4 → 9/6

夏だ。旅にでも出ようか!



少年、少女は冒険の旅へ、
青年は荒野をめざし、
大人はそれぞれの旅へ

節電対策に伴う閉館時間の一部繰上げのお知らせ

東日本大震災の影響に伴う電力不足に対応し、節電対策として市立図書館は、閉館時間を一部繰上げ、午後5時閉館といたします。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

南区 白根図書館・月湯図書館

8月15日(月)～21日(日) 午後5時閉館

* 休館日は平常通りです。



●お願い 閉館時間の繰上げにより、予約本の取り置き期限までにご来館できない方は、ご利用の図書館の窓口または電話でお申し出ください。



9/6までの行事

おはなしのじかん
毎週土曜日

絵本のよみかたり 14:10～
ストーリーテリング 14:30～

おはなしかご例会
(読み聞かせボランティア)
第24土曜日

8/13 お休み
8/27(ル-41) 10:00～

8月6日(土)

こわ～いおはなし大会
14:10～
14:00～整理券配布

8月21日(日)

読書会(ル-42) 14:00～

8月25日(木)

雑誌リサイクル 10:00～

閉館時間繰上げ週間

8/15(月)～8/21(日)
午後5時で閉館

9月6日(火)

ブックスタート(南区)
1歳誕生歯科健診会場

8月のブックバス

★学校の夏休み中、ブックバスはお休みします。

★9月5日から再開します。



ブックバスでの返却について

夏休みに入りブックバスはお休みになりましたが、
借りた本は新潟市立図書館であれば

どこでも返却できます。

どうぞ、この機会に図書館
においでください。



7月の来館者数…………… 17,904人